

広がる、
つながる
コープで

コープみらい第7回 通常総代会開催報告

理事長よりごあいさつ



理事長 新井ちとせ

組合員の皆さまの日ごろのご利用、ご協力に心より感謝申し上げます。6月に開催した第7回通常総代会では、2018年度の方針・予算、新たな役員体制を承認いただきました。引き続き、事業と活動を通じて組合員一人ひとりのくらしに貢献してまいります。

コープみらいは、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」を実現する取り組みの一つとして、本年2月に千葉県・埼玉県・東京都（島しょ部を除く）の全170自治体と、

高齢者を中心とした地域見守り活動に関する協定などを締結しました。これはコープの職員が高齢者などの異変に気づいた場合に自治体や警察などに連絡するというお約束で、2018年度は1年間で90件連絡することができました。今後、さらに行政や地域の皆さまとのパートナーシップを強め、安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。

これからも、この取り組みを含めたコープみらいの多様な事業・活動を進め、2030年までに誰一人取り残さない世界の実現を目指す国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」にも貢献していきます。助け合いの組織として、一人でも多くの方に「コープみらいのファンよ」と言っていただけできるよう、事業と活動に取り組んでまいります。どうぞよろしく願っています。

当日の様子を
ご紹介します

通常総代会に向けて、昨年11月から3回にわたり、22の地域（ブロック）で「ブロック別総代会議」を開催し、事前の話し合いを進めました。そこでいただいたご意見を受け止め、通常総代会で3つの議案を提案しました。主な内容をお伝えします。

1 3つの議案を提案

- 第1号議案 2018年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2019年度事業計画・予算設定の件
- 第3号議案 役員選任の件

議案提案はスライドなどを使い熊崎専務理事が行いました。

第1号議案では、2018年度に取り組んだ事業と活動を提案しました。2018年度も多くの組合員の皆さまのご利用に支えられ、総事業高3,909億円、経常剰余金55億円、組合員数347万人となりました。宅配事業では「ポイントステージ制」の導入など組合員のニーズに合わせた改善を進めました。店舗事業ではくらしの変化に対応した品ぞろえと売り場づくりを進めました。また宅配と店舗のポイントを移動できるようにしました。

第2号議案では、2019年度の事業計画と予算を提案しました。相次ぐ商品の値上げ、10月に予定されている消費税増税など、家計への影響が想定される中、より利用しやすい価格や品ぞろえの充実を図り、事業と活動を通じて食の安全と安心を第一に取り組みます。宅配事業では「つかうほど、じぶんらしく。」を基本メッセージとして信頼いただけるよう取り組みます。店舗事業では3店舗を新規出店（うち2店舗はミニコープからの移転・拡張）します。各事業の競争力を高め、コープのファンづくりを進めます。

第3号議案では、定款・役員選任規約に基づいて、理事33人、監事7人を役員として選任することを提案しました。

コープは、組合員自身が運営に参加する組織です。年度方針などの重要事項は、組合員の代表である総代が参加する「総代会」で決定します。6月6日、京王プラザホテル（東京都新宿区）で開催した第7回通常総代会は、総代1,284人中、書面出席などを含め1,214人が出席し、3つの議案全てが承認可決されました。

2 総代の皆さまからの発言

総代の皆さまから、議案に対するご意見やコープへの想いなど、約300通の「私からコープみらいへのメッセージ」が寄せられました。その中から、当日10人に発言をいただき、審議を行いました。

発言された
総代の皆さん



発言の要旨

私は生協歴34年、娘は6年、姑は45年以上とそれぞれ生協を利用しています。家族を支える商品の安全・安心を根底にしたコープの活動に感謝しています。

「買い物難民」という言葉を耳にするようになりました。お店が遠い方や外出が困難でコープの宅配がなくてはならない方もいるようです。これからは週2〜3回の配達に増やすなど柔軟な対応が「選ばれるコープ」になるために必要だと思います。

お店で値引きの食品を買ったとき、栄養成分表示の上に値引きシールが貼られていました。勇気を出してお店に伝えたところ、それ以降表示の上には貼られなくなりました。私の声が届いた！ これからも一人ひとりの声を大切にしてほしいです。

コープみらいカレッジの受講や、総代として商品検査センターの見学などを通じてさまざまなことを学ぶことができ、今まで知らなかった分野で多くの方が努力をされていることがよくわかりました。

コープでは地域や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカル（倫理的）なお買い物」として積極的に応援している、とあります。コープは生産者さんのご苦労を伝え、消費者とつなげる組織であってほしいです。

毎週決まった曜日・時間に注文の品を受け取れるのは、便利でありがたいことです。人手不足のため配達の仕事は大変だと思いますが、みんなの生活を大事にするのが生協ですから、利用する人にも働く人にもやさしい組織であってほしいと思います。

みらいひろばに参加して4年目。組合員でない人も参加できるため友人数名が加わってくれました。男性の参加者もいて話題も幅広く、自分の生活が豊かになっています。これからもいろいろ挑戦していきたいです。

長崎で育った者として、平和に日常を過ごせることの幸せを若い人に伝えたいと思っています。2020年のNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議までにヒバクシャ国際署名を多く集め、核兵器禁止条約が発効されるよう私も何でもやりたいし、生協も取り組みを強化していただければと思います。

奨学金応援サポーター*になって約1年。奨学生やその家族の近況報告を読んで、改めて大きな意義のある事業だと確信しました。多くの学生さんの手助けになれるよう、この事業を応援したいと思います。

*募金を通じてコープみらい財団の奨学金給付事業を応援する組合員

コープのおかげで、食の安全・安心や社会貢献の取り組みなどいろいろな問題に対する意識が高まりました。長年にわたって組合員・生産者などを支えているのはすばらしい実績です。これからも活動の裾野を広げ、若い方たちにコープファンを増やしたいものです。

3 発言・審議のまとめ

総代の発言を受け、熊崎専務理事が審議のまとめを行いました。熊崎専務理事からは、「ブロック別総代会議や『私からコープみらいへのメッセージ』を通じて、総代の皆さまから多岐にわたるご意見が寄せられました。コープみらいへの期待や励まし、好評の意見やお叱りの声、改善を望むご意見など、たくさんのメッセージに込められた総代の皆さまの想いを大切に受け止め、事業や活動に反映していきます。コープみらいが地域にあつてよかったと言っているだけのように、これからも組合員の皆さまの声をしっかりと聞きながら、役員一同全力を尽くしてまいります」と表明がされました。

4 全議案を承認可決



「総代議決証」を掲げて議案への意思表示を行う総代の皆さん



発言・審議のまとめを行う熊崎専務理事

役員体制について

総代会後に開催した第1回コープみらい理事会にて、理事長に新井ちとせ（重任）、副理事長に土屋敏夫（重任）、永井伸一郎（新任）、専務理事に熊崎伸（重任）を互選しました。

2018年度

出資配当金のお知らせ

2018年度の出資配当率が次の通り決まりました。

出資配当率 年0.2%

出資配当金は、出資金への振替でお支払いします。出資配当金のお知らせは、宅配をご利用の方は「お届け明細書兼請求書」、店舗をご利用の方は「はがき」または携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）でお知らせしています。ご確認ください。